

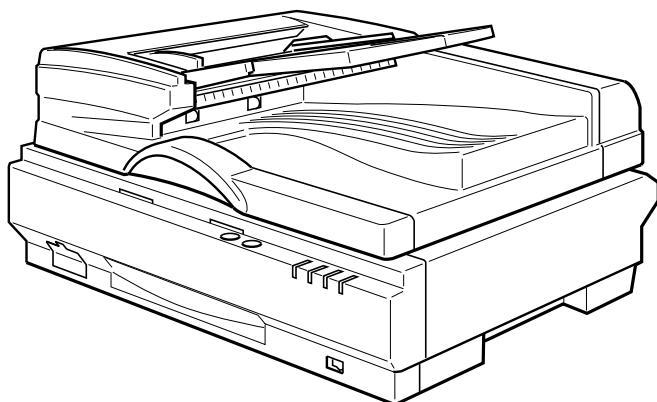
**RICOH**



# リコーカラーイメージスキャナー IS330DC



## 使用説明書 取り扱い編



ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。  
本書をすぐに利用できるように保管してください。

## ■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

## ■ 複製、印刷が禁止されているもの

- 本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。
- 1. 複製、印刷することが禁止されているもの
  - (見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)
    - \* 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
    - \* 日本や外国の郵便切手、印紙

### ☞(関係法律)

- 紙幣類似証券取締法
  - 通貨及証券模造取締法
  - 郵便切手類模造等取締法
  - 印紙等模造取締法
  - (刑法 第148条)
- 2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの
    - \* 外国の紙幣、貨幣、銀行券
    - \* 株券、手形、小切手などの有価証券
    - \* 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
    - \* 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

### ☞(関係法律)

- 刑法 第149条 第155条 第159条 第162条
  - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ關スル法律
- 3. 著作権法で保護されているもの
    - \* 著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

# 安全上のご注意

## 表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
○の中に具体的な禁止内容が描かれています。  
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
●の中に具体的な指示内容が描かれています。  
(左図の場合は、“アースを接続してください”を表します)

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

## ⚠️警告



- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- この機械の上に花瓶、植木鉢、カップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチ(機種によっては主電源スイッチを含みます)を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチ(機種によっては主電源スイッチを含みます)を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

## ⚠ 注意



- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- ・本機は約28kgあります。
- ・本機を持ち上げるときは、2人以上で両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- ・長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。



- ・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- ・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



- ・原稿づまりを処置してカバーを閉じる場合は、手を挟まないよう気をつけてください。けがの原因になります。

---

## 使用上のお願い

---

- 部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じことがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- スキャナー内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や吸気口をふさがないようにしてください。
- 通気口などでは排気により暖かいと感じることがありますが、異常ではありません。
- カバーを開けたままにしないでください。けがの原因になります。
- クリップなどの異物がスキャナーの中に入らないようにしてください。
- 原稿読み取り中に電源を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。
- 原稿読み取り中にスキャナーの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

# エナジースター



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。

このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。

本製品は、同プログラムに掲げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

## ❖ 低電力モード

一定時間(約15分)操作しない状態が続いたとき、自動的に電力の消費を低くするように設定されています。この状態から操作するときは、以下のようにしてください。

- 解除方法
  - 原稿テーブルに原稿をセットする。
  - 自動原稿送り装置(ADF)のカバーを開ける。
  - 圧板のカバーを開ける。
  - パソコンから読み取りの指示をする。



### 補足

- 以下の場合は省電力モードに移行しません。
  - オプション機器を装着している場合
  - エラーが発生した場合
  - 原稿が原稿テーブルにセットされている場合

## ❖ 仕様

低電力モード	消費電力	約11W
	移行時間	15分

# マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

## △警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

## △注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

以上は、安全上のご注意についての説明です。

## ● 重要

誤って操作をすると、紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

## ■ 操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

## ◆ 補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

## ● 制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

## ○ 参照

参照先を示します。

## [ ]

画面のキーの名称を示します。

## 【 】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

# 目次

## 1. はじめに

特長 .....	9
各部の名称 .....	10
インジケーターの見かた.....	12

## 2. 設置と接続

設置前の確認 .....	13
設置環境を確認する .....	13
電源ケーブルを接続する .....	15
パソコンと接続する .....	17
SCSIインターフェースに接続する .....	17
IEEE1394インターフェース（オプション）に接続する .....	18
オプションの取り付け .....	20
IEEE1394ボードの取り付け .....	20
画像プロセッシングユニットの取り付け .....	21

## 3. 原稿のセットのしかた

セットできる原稿のサイズ .....	23
自動的に読み取れる原稿サイズ.....	23
コンタクトガラスに原稿をセットする .....	24
自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットする .....	25
片面読み取りの場合 .....	26
両面読み取りの場合 .....	27

## 4. 付録

こんなときは .....	29
読み取りがはじまらないとき .....	29
思いどおりに読み取れないとき .....	29
インジケーターにエラーが表示されたとき .....	30
自動原稿送り装置(ADF)に原稿が詰まったとき .....	31
清掃 .....	32
コンタクトガラス、ADFコンタクトガラス、圧板、ホワイトプレートを清掃するには .....	32
フィードローラーを清掃するには .....	33
原稿ローラーを清掃するには .....	33
原稿コロを清掃するには .....	34
DIPスイッチの設定について .....	35
移動・輸送 .....	36
近くに移動するとき .....	36
本機を輸送するとき .....	36
廃棄 .....	37
オプション .....	38
IEEE1394インターフェース使用上のご注意 .....	39
仕様 .....	40
電波障害について .....	41
索引 .....	42



# 1. はじめに

## 特長

### ❖ 高速読み取り

モノクロ読み取りなら30ppm、カラー読み取りでも10ppmで読み取ることができます。  
( A4□/200dpi )

### ❖ 高画質・カラー対応

フルカラー読み取りに対応しています。また、sRGB、ICMなどのカラーマッチング出力にも対応しています。

### ❖ 高性能自動両面原稿送り装置（ADF）を標準装備

本機の自動原稿送り装置(ADF)は両面対応なので、1回の操作で原稿の両面を読み取ることができます。

### ❖ 自動原稿サイズ検知機能を標準搭載

本機では、コンタクトガラスおよび自動原稿送り装置(ADF)の原稿を、ドライバーの設定により自動的にサイズを検知して読み取ることができます。

### ❖ SCSI-2/3(Ultra-SCSI)インターフェース、IEEE1394インターフェース(オプション)を用意

標準で SCSI-2/3(Ultra-SCSI) に対応したインターフェースを用意しました。また、オプションで IEEE1394インターフェースを用意することにより、データサイズの大きい画像を取り込むときに威力を発揮できるようにしました。

### ❖ 省スペース設計

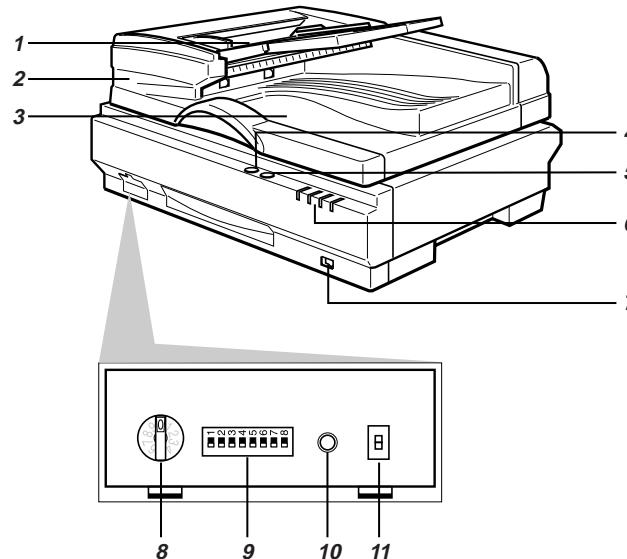
原稿トレイなどのでっぱりがないウイングレススタイルを採用。オフィスのスペースを有効活用できます。

### ❖ 省電力

エナジースター対応により、環境に優しい省電力を実現しています。

# 各部の名称

1



ZDLH010J

## 1. 原稿テーブル

自動原稿送り装置 (ADF) で読み取る原稿をセットします。

## 2. 自動原稿送り装置(ADF)

原稿を自動的に送って読み取るときに使用します。

## 3. 排紙テーブル

自動原稿送り装置 (ADF) を使用して読み取りが終わった原稿が排出されます。

## 4. 【リセット】キー

マニュアルスキャンを終了するときに使用します。

## 5. 【スタート】キー

マニュアルスキャンを開始するときに使用します。

## 6. インジケーター

本機の状態を確認することができます。

## 7. 電源スイッチ

本機の電源を入れたり切ったりします。

## 8. ロータリースイッチ

SCSI IDを設定するときに使用します。

## 9. DIPスイッチ

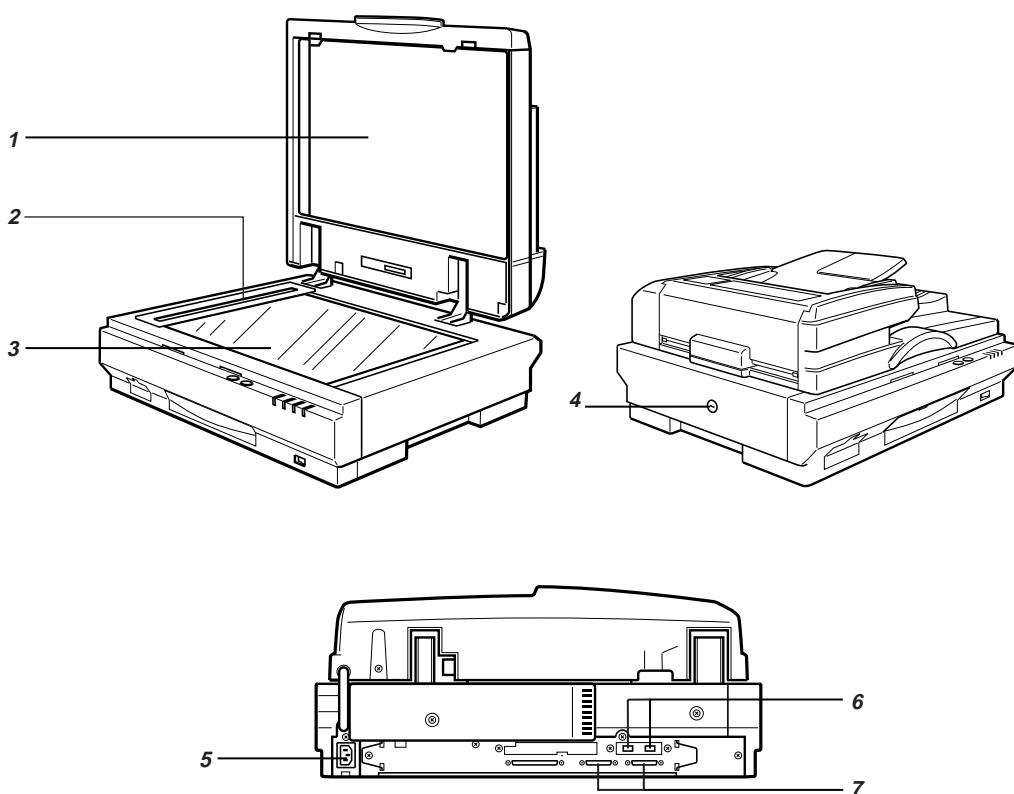
動作モードを設定するスイッチです。

## 10. ハードリセットスイッチ

本機の電源を入れ直した状態にするスイッチです。DIPスイッチやロータリースイッチの設定を有効にするときに使用します。

## 11. SCSI/IEEE1394切り替えスイッチ

SCSIインターフェースとIEEE1394インターフェース(オプション)を切り替えるスイッチです。



ZDLH020J

**1. 圧板**

コンタクトガラスにセットした原稿を押さえます。

**2. ADFコンタクトガラス**

自動原稿送り装置(ADF)を使用したときに、原稿を読み取ります。

**3. コンタクトガラス**

原稿をセットします。

**4. 固定スイッチ**

本機を輸送するときなどに内部の読み取り装置などを固定するスイッチです。

**5. 電源コネクター**

電源ケーブルを接続します。

**6. IEEE1394コネクター(オプション)**

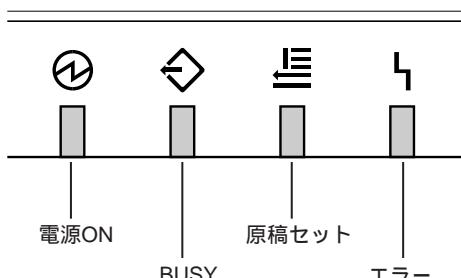
IEEE1394ケーブルを接続します。

**7. SCSIコネクター**

SCSIケーブルを接続します。

## インジケーターの見たた

本機には次のようなインジケーターがあります。



ZDLH030J

本機が正常な状態のとき、インジケーターは次のようにになります。これら以外の状態になった場合はエラーが発生しているので、P.30 「インジケーターにエラーが表示されたとき」を参照し、エラーを解除してください。

				内容
				電源を入れたり、ハードリセットしたとき (数秒間のみ)
-	-	-	-	自動原稿送り装置（ADF）に原稿がなく、読み取っていないとき
-	-	-	-	自動原稿送り装置（ADF）に原稿があり、読み取っていないとき
		-	-	読み取ったデータの転送中 (ADFに原稿がないとき)
			-	読み取ったデータの転送中 (ADFに原稿があるとき)
-			-	マニュアルスキャン待機状態のとき （【スタート】キーを押す前）
-	-	-	-	低電力モードのとき
	-		-	低電力モードで、マニュアルスキャン待機状態のとき

: 点灯

: 点滅

- : 消灯

## 2. 設置と接続

### 設置前の確認

#### 設置環境を確認する

##### ⚠ 警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

##### ⚠ 注意



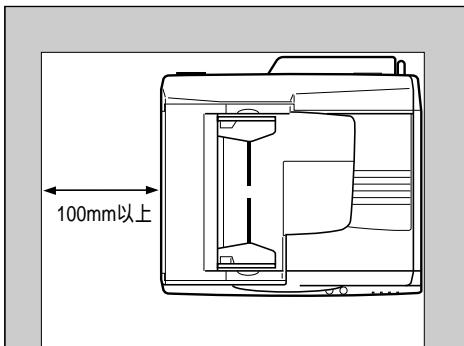
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

水平でがたつきがなく、振動のない場所を選んで設置してください。

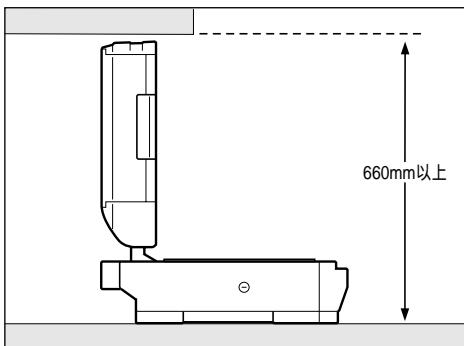
- 設置する台の平面度：前後左右5mm以下

##### ❖ 設置スペース

次の図のようなスペースを確保できる場所に設置してください。



ZDLH040J



ZDLH050J

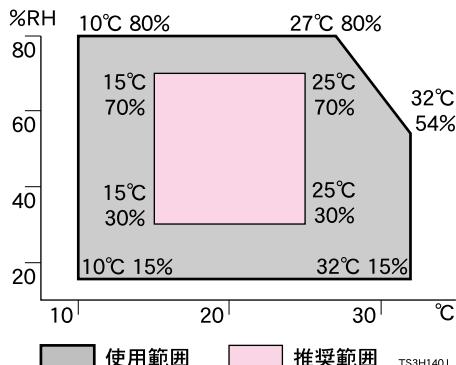
##### ❖ 設置環境

##### ※ 重要

□ 故障の原因になりますので、次のような場所に置かないでください。

- 直射日光の当たるところ
- エアコンや暖房機などの温風・ふく射熱が直接当たるところ
- ラジオ・テレビなど、他のエレクトロニクス機器に近いところ
- 高温、高湿、低温、低湿になるところ
- 加湿器の近く

温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。



### ● 重要

- 本機の梱包箱や緩衝材は、本機を輸送するときに使用できるように保存してください。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じことがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

# 電源ケーブルを接続する

ここでは、本機に電源ケーブルを接続する手順について説明します。

## ⚠ 警告



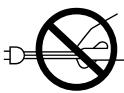
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

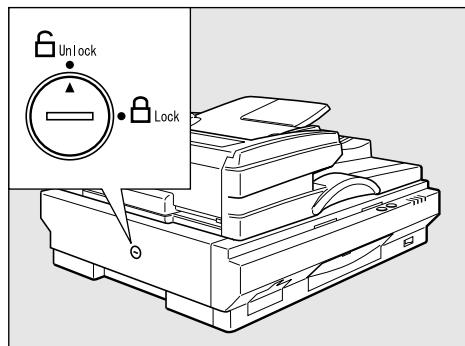
## ⚠ 注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 1** 電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

- 2** 本体左側面の固定スイッチが「Unlock」側になっていることを確認します。

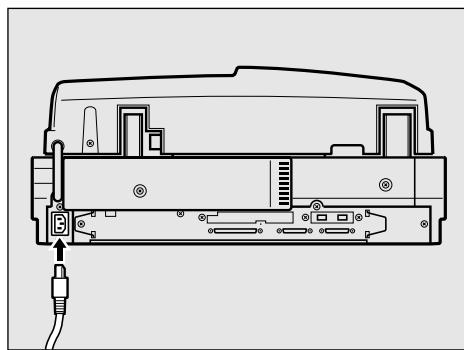


ZDLH220J

## ⚠ 重要

- 固定スイッチが「Unlock」側になっていることを必ず確認してください。解除しないで電源を入れるとスキャンできないだけではなく、故障などの原因となります。

- 3** 電源ケーブルを本機の電源コネクターに奥までしっかりと差し込みます。



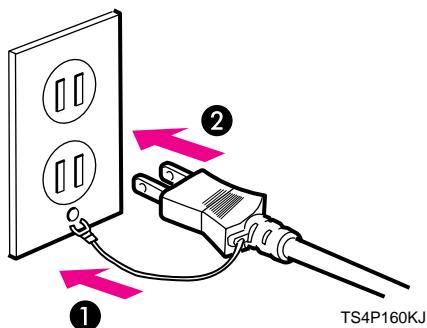
ZDLH100J

## 補足

- 電源ケーブルは本機に付属されているものを使用してください。

**4** 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2



アース線を次のいずれかにつないで接続してください。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

# パソコンと接続する

本機には、SCSI-2/3 規格に準拠したインターフェースと、IEEE1394 規格に準拠したインターフェース(オプション)があります。ここでは、それぞれのインターフェースを使用してパソコンと接続する方法について説明します。

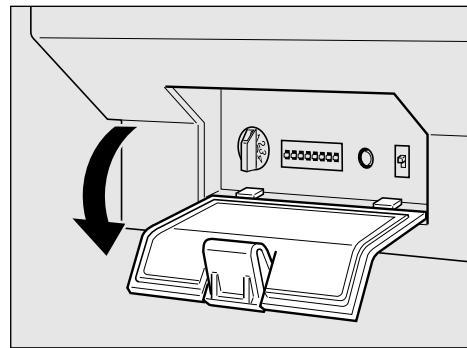
## SCSIインターフェースに接続する

### 重要

- 本機を他の SCSI 機器とデイジーチェーンで接続した場合は、正常に動作しないことがあります。
- 本機の SCSI インターフェースは、50 ピンハーフピッチ(ピンタイプ)です。ANSI規格準拠のシールドSCSI-2もしくはSCSI-3 (Ultra-SCSI) ケーブルで接続してください。それ以外のケーブルを使用すると、誤動作またはVCCIルールの限度値を越え電波障害を起こす可能性があります。
- 同一のSCSI IDが複数存在すると、誤動作が生じるかデータが破損する場合があります。本機のSCSI IDが他のSCSI機器と重複しないように設定してください。
- 接続する SCSI ケーブルの長さの合計はパソコン内部のケーブルの長さを含めて、SCSI-3 (Ultra-SCSI) のときは1.5m、SCSI-2 のときは3m以下にしてください。
- 使用する SCSI ボードやケーブルの組み合わせによっては、正常に動作しない場合があります。そのような場合は、本機のみパソコンと接続するようにしてください。

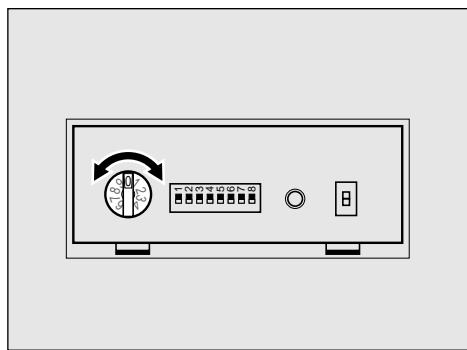
## SCSI IDを設定する

- 1** 本体左下部にあるカバーを開きます。



2

- 2** ロータリースイッチを回してSCSI IDを設定します。

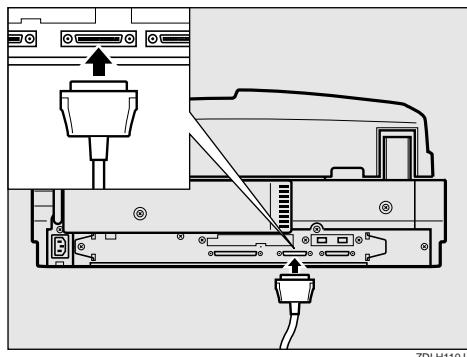


### 補足

- 電源が入った状態で設定を変更した場合は、ハードリセットスイッチを押してください。

## SCSIケーブルを接続する

- 1** パソコンおよびSCSI接続するすべての機器の電源を切ります。
- 2** 本機の SCSI コネクタとパソコンの SCSI ボードを、SCSIケーブルで接続します。



- 3** 本体左下部にあるカバーを開き、DIPスイッチの3番の設定を確認します。
  - 本機がデイジーチェーンの終端にある場合は、DIPスイッチの3番をOFFにします。
  - 本機がデイジーチェーンの終端でない場合は、DIPスイッチの3番をONにします。
- 4** 本機の電源を入れ、パソコンの電源を入れます。

本機を使用するときに必要なソフトウェアのインストールについては、使用説明書＜RICOH TWAIN Driver Ver.3＞を参照してください。

## IEEE1394インターフェース（オプション）に接続する

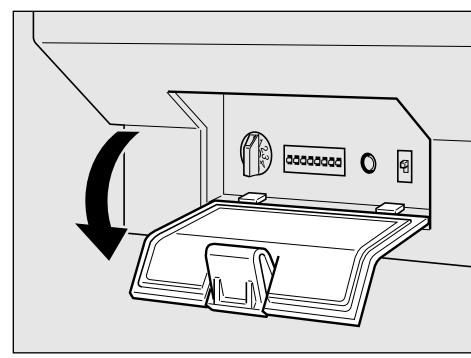
### ■重要

- 接続には、IEEE1394 ボードに同梱のケーブルをご使用ください。
- 複数のパソコンで複数の IEEE1394 対応機器を接続すると、動作が不安定になることがあります。複数の IEEE1394 機器を接続する場合は、動作を確認の上ご使用ください。

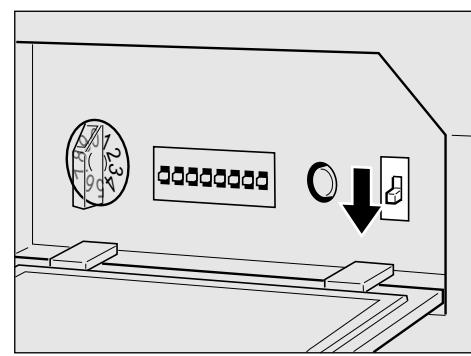
### ○ 参照

IEEE1394 インターフェースは、オプションの IEEE1394 ボードを本機に取り付けると使用できます。IEEE1394 ボードの取り付けについては、P.20 「IEEE1394ボードの取り付け」を参照してください。

- 1** 本体左下部にあるカバーを開きます。



- 2** SCSI/IEEE1394 切り替えスイッチを、「1394」に切り替えます。

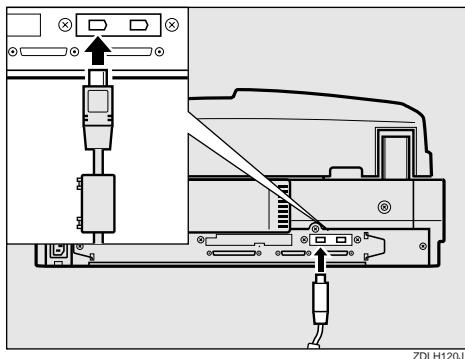


### ○ 補足

- 電源が入った状態で設定を変更した場合は、ハードリセットスイッチを押してください。

**3** 本機の IEEE1394 コネクタとパソコンの IEEE1394コネクタを、ケーブルで接続します。

コアが付いている側のケーブルを本機の IEEE1394コネクタに接続してください。



# オプションの取り付け

## IEEE1394ボードの取り付け

2

### 重要

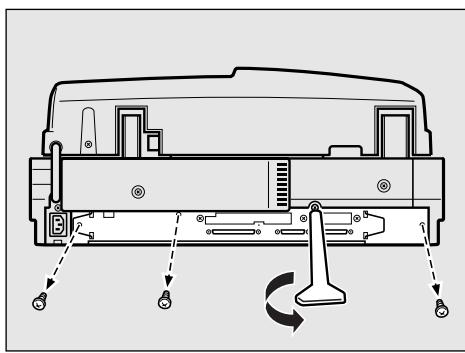
- IEEE1394 ボードに触れる前に、金属製のものに触れて、身体の静電気を取り除いてください。

### 補足

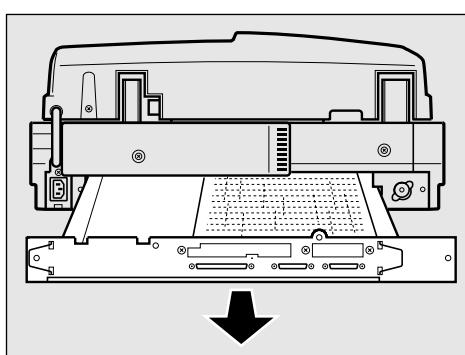
- ネジの取り外し、固定には付属の工具を使用してください。

**1** 本機の電源を切り、電源ケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべて抜きます。

**2** 本体背面下部の4本のネジを取り外します。



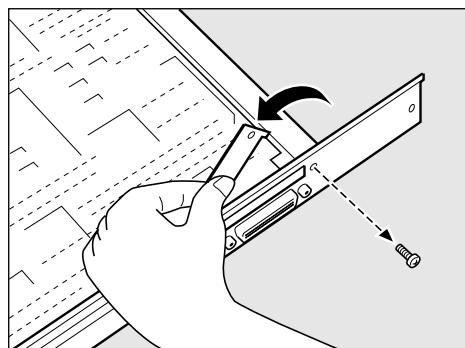
**3** スキャナーコントロールユニットを引き抜きます。



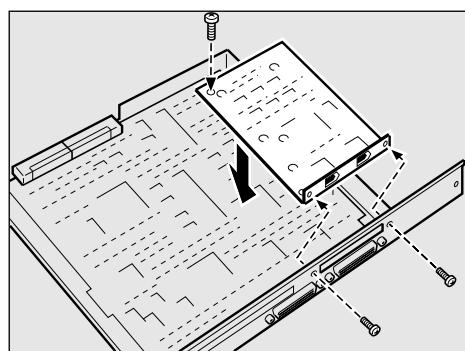
### 重要

- コントロールユニットは重量があるので、落としたりしないよう注意して引き抜いてください。

**4** 1 本のネジを取り外し、スキャナーコントロールユニットのカバーを取り外します。



**5** IEEE1394ボードをスキャナーコントロールユニットに接続し、取り外したネジとIEEE1394ボードに同梱されているネジで固定します。



**6** しっかりと接続されていることを確認し、スキャナーコントロールユニット上に金属などの異物がないことを確認します。

**7** スキャナーコントロールユニットを本体に差しこみ、4本のネジで固定します。

**8** 各ケーブルを接続し、電源ケーブルを接続します。

## 画像プロセッシングユニットの取り付け

### ■重要

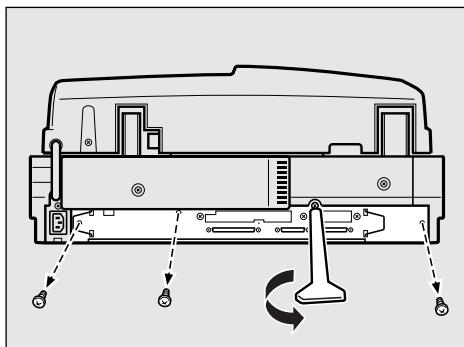
- 画像プロセッシングユニットに触れる前に、金属製のものに触れて、身体の静電気を取り除いてください。

### ■補足

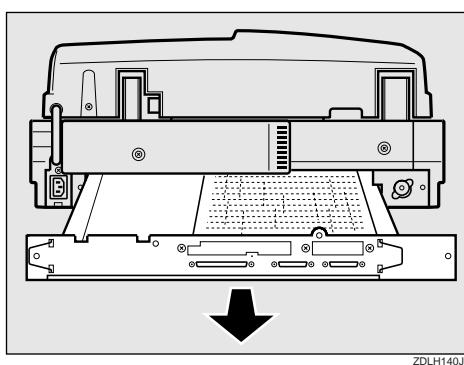
- ネジの取り外し、固定には付属の工具を使用してください。

**1** 本機の電源を切り、電源ケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべて抜きます。

**2** 本体背面下部の4本のネジを取り外します。



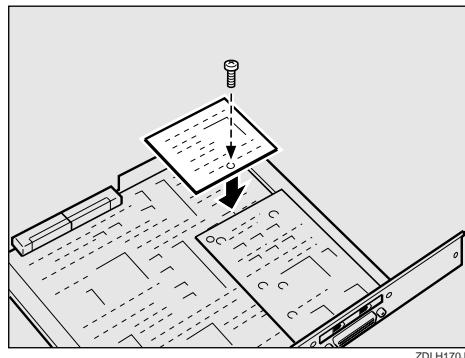
**3** スキャナーコントロールユニットを引き抜きます。



### ■重要

- コントロールユニットは重量があるので、落としたりしないよう注意して引き抜いてください。

**4** 画像プロセッシングユニットをスキャナーコントロールユニットに接続し、同梱されている1本のネジで固定します。



**5** しっかりと接続されていることを確認し、スキャナーコントロールユニット上に金属などの異物がないことを確認します。

**6** スキャナーコントロールユニットを本体に差し込み、4本のネジで固定します。

**7** 各ケーブルを接続し、電源ケーブルを接続します。



### 3. 原稿のセットのしかた

ここでは、読み取る原稿を本機にセットする方法を説明します。

コンタクトガラスまたは自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットできます。複数の原稿を連続して読み取りたいときは、自動原稿送り装置(ADF)を使用すると便利です。

#### セットできる原稿のサイズ

原稿セット先		原稿サイズ	原稿紙厚(四六判)
コンタクトガラス		A3(297mm × 420mm)、11 × 17(DLT 279 × 432mm)まで	制限なし
自動原稿送り装置(ADF)	片面 両面	<p>❖ <b>定型サイズ</b> 最大:A3□、11 × 17□ 最小:A5□</p> <p>❖ <b>不定形サイズ</b> 最大:297mm × 2000mm(白黒読み取り時)、 297mm × 630mm(カラー読み取り時) 最小:105mm × 128mm</p>	41 ~ 128g/m <sup>2</sup> (35 ~ 110Kg) 52 ~ 105g/m <sup>2</sup> (45 ~ 90Kg)

##### 補足

- 原稿サイズがA5、または原稿紙厚が52g/m<sup>2</sup>(45Kg)以下の原稿を自動原稿送り装置(ADF)から読み取らせる場合、TWAINドライバーの[セット個所]を「ADF(薄紙)」に変更してください。詳しくはTWAINドライバーのヘルプを参照してください。

#### 自動的に読み取れる原稿サイズ

本機が自動的にサイズを検知して読み取れる原稿サイズは以下のとおりです。

##### ❖ コンタクトガラス

- A3□(297mm × 420mm)
- B4□(257mm × 364mm)
- A4□(210mm × 297mm)
- A4□(297mm × 210mm)
- B5□(182mm × 257mm)
- B5□(257mm × 182mm)

##### ❖ 自動原稿送り装置(ADF)

- A3□(297mm × 420mm)
- B4□(257mm × 364mm)
- A4□(210mm × 297mm)
- A4□(297mm × 210mm)
- B5□(182mm × 257mm)
- B5□(257mm × 182mm)
- A5□(148mm × 210mm)
- A5□(210mm × 148mm)

##### 補足

- カラー画像データのときは、上記の条件に当てはまっていても読み取れないことがあります。詳しくは、TWAINドライバーのヘルプ、または本機に同梱のCD-ROMのReadme.txtを参照してください。

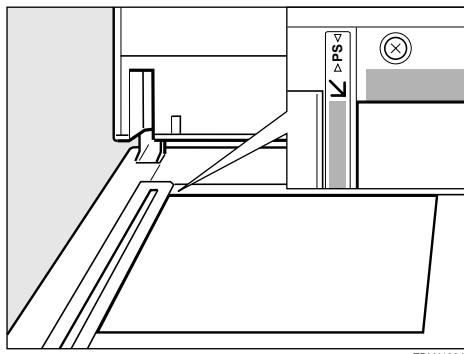
## コンタクトガラスに原稿をセットする

### !**重要**

- 自動原稿送り装置(ADF)を閉じるときは、指を挟まないようにご注意ください。
- 電源を入れる前に原稿がセットされていると、自動原稿サイズ検知機能が働きません。電源を入れてから原稿をセットしてください。

3

- 1** 自動原稿送り装置(ADF)を開きます。
- 2** 読み取る面を下にし、原稿をセット基準およびスケールに合わせてセットします。



### !**重要**

- コンタクトガラスは強く押さないでください。局部的に強い力がかかると破損する可能性があります。

- 3** 自動原稿送り装置(ADF)を静かに閉じます。

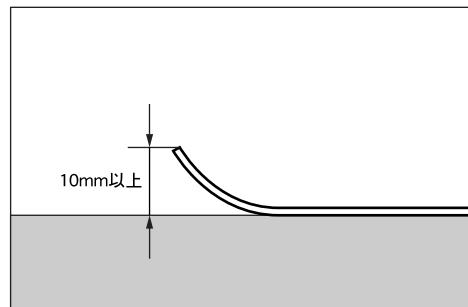
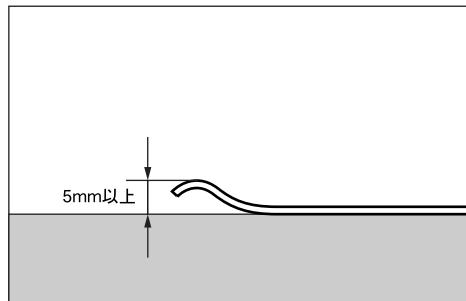
# 自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットする

自動原稿送り装置(ADF)には、一度に複数枚の原稿をセットすることができます。本書では、自動原稿送り装置(ADF)にセットできるシート状の原稿を「シート原稿」と呼びます。自動原稿送り装置(ADF)にセットした原稿は、片面だけでなく両面を読み取ることができます。

## ❖ 自動原稿送り装置(ADF)にセットできない原稿

- 「セットできる原稿のサイズと紙厚」以外の原稿
- ステークリップの針やクリップ、のりなどの粘着物のついた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- 貼り合わせた原稿
- 濡れた原稿
- 紙以外の原稿
- ミシン目のある原稿(CFFなど)
- 写真、写真相当の印刷やプリントの原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙など表面が加工された原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- トレーシングペーパー(第二原図用紙)などのようにすべりにくい原稿
- 登記書などに使われるような薄くてやわらかい原稿
- 官製はがき程度のように厚さが適当でない原稿
- 本などのように綴じてある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー(第二原図用紙)などに透明度の高い原稿

- 下図のように先端のカールが大きい原稿



## ※重要

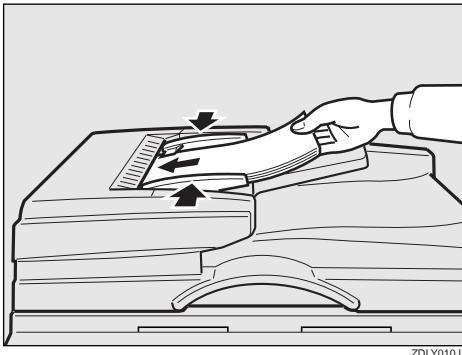
- セットできない原稿を自動原稿送り装置(ADF)にセットすると、原稿がつまつたり、破損するなどの原因となることがあります。このような原稿はコンタクトガラスにセットしてください。

## ❖ 自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットするときの注意

- 上限表示を超えないようにセットしてください。
- 自動的に検知できる原稿サイズについては、P.23「自動的に読み取れる原稿サイズ」を参照してください。

## 片面読み取りの場合

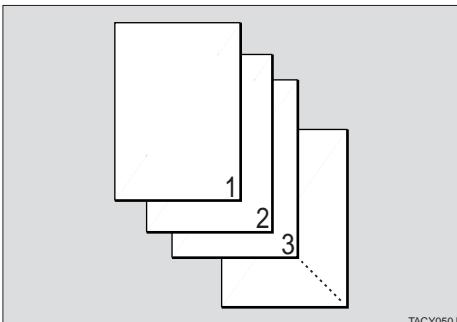
- 1** 自動原稿送り装置(ADF)に、読み取る面を上にして原稿をセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせます。



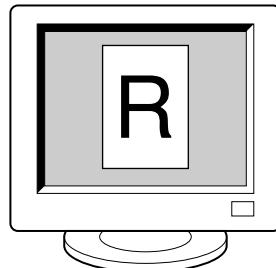
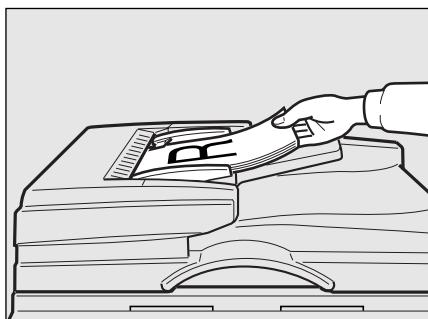
3

### 補足

- 読み取るページ順に、原稿をそろえます。

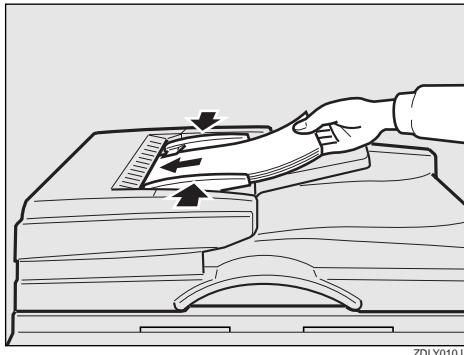


- 重送（複数枚の原稿が重なったまま一度に送られること）されないようにするため原稿をバラとほぐしてからセットしてください。
- 図の向きに原稿をセットすると、上下が正しく読み取られます。



## 両面読み取りの場合

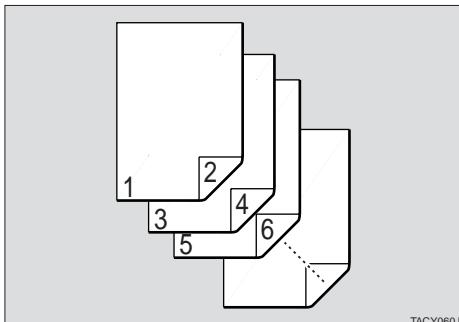
- 1** 自動原稿送り装置(ADF)に、最初に読み取る面(原稿の表面)を上にして原稿をセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせます。



ZDLY010J

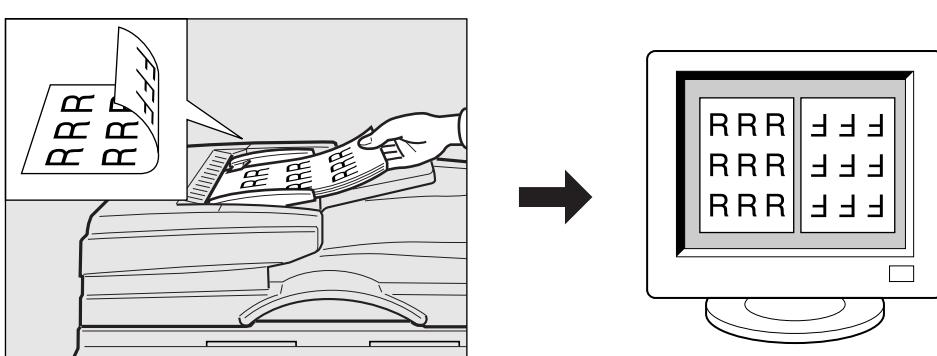
### 補足

- 読み取るページ順に、原稿をそろえます。



TACY060J

- 重送 (複数枚の原稿が重なったまま一度に送られること) されないようにするため原稿をバラとほぐしてからセットしてください。  
 □ 図の向きに表面をセットすると、裏面は天地が逆に読み取られます。ただし、TWAIN ドライバーで読み取るときは、「回転」の機能を使って正しい方向に回転させることができます。「回転」の機能については、TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。



ZDLY030J



# 4. 付録

## こんなときは

ここでは、原稿がうまく読み取れない場合や、本機のインジケータにエラーが表示された場合の原因や対処方法について説明します。

### 読み取りがはじまらないとき

インターフェースケーブルがきちんと接続されていない	<ul style="list-style-type: none"><li>適切なインターフェースケーブルを使用してください。</li><li>インターフェースケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。</li></ul>
固定スイッチのロックが解除されていない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源を入れた時に異音がするなど、読み取りが始まらないときは、本体左側面の固定スイッチがロックされています。「Unlock」側にしてロックを解除してください。</li></ul>
電源が入っていない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチをONにしてください。</li></ul>
原稿がセットされていない	<ul style="list-style-type: none"><li>コンタクトガラス、または自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットしてください。</li></ul>
SCSI機器として認識されていない	<ul style="list-style-type: none"><li>スキャナーの電源を入れた後に、パソコンの電源を入れてください。</li><li>電源が入った状態でSCSI IDを変更した場合は、ハードリセットスイッチを押してください。</li><li>SCSI IDが正しく設定されているか確認してください。</li><li>インターフェースケーブルがきちんと接続されているか確認してください。</li></ul>

### 思いどおりに読み取れないとき

読み取ったイメージが汚れる	<ul style="list-style-type: none"><li>コンタクトガラス、ADFコンタクトガラス、圧板または原稿ローラーが汚れています。 P.32「清掃」</li><li>コンタクトガラス、ADFコンタクトガラス、圧板または原稿ローラーを清掃してください。 P.32「清掃」</li></ul>
イメージがゆがむ、ずれる	<ul style="list-style-type: none"><li>読み取り中に原稿が動きました。読み取り中は原稿を動かさないでください。</li><li>原稿がコンタクトガラスから浮き上がっていました。原稿をコンタクトガラスに十分押し当ててください。</li><li>自動原稿送り装置（ADF）の原稿ガイドをしっかりと原稿のサイズに合わせてください。</li></ul>

イメージの上下が逆に読み取られる	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿が上下逆にセットされていました。原稿の向きを正しくセットしてください。</li> </ul>
イメージが読み取られない	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿の表と裏が逆にセットされていました。正しくセットしてください。</li> <li>コンタクトガラスにセットするときは、読み取りたい面を下に向け、自動原稿送り装置(ADF)にセットするときは読み取りたい面を上に向けてください。</li> <li>固定スイッチのロックが解除されていることを確認してください。</li> </ul>
原稿にゴミが付着する	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードローラー、原稿ローラーまたは原稿コロを清掃してください。 P.32 「清掃」</li> </ul>

## 4

## インジケーターにエラーが表示されたとき

ここでは、本機のインジケーターに表示されたエラーの内容と対処方法を記載しています。

### 補足

- ここで示されていないエラーが表示された場合は、本機の電源スイッチを切ってからもう一度電源スイッチを入れてください。それでもエラーが消えない場合は、エラーの内容をサービス実施店に連絡してください。

①	②	③	④	エラーの内容	対象方法
	-	-		自動原稿送り装置(ADF)または自動原稿送り装置(ADF)のカバーが正しく閉じられていません	自動原稿送り装置(ADF)または自動原稿送り装置(ADF)のカバーを閉めてください
	-			原稿が自動原稿送り装置(ADF)の中に詰まっています。	詰まった原稿を取り除いてください。
	-			原稿が自動原稿送り装置(ADF)に正常に送られていません	正しく送られなかった原稿を取り除いてください。
				システムエラー	サービス実施店に連絡してください。

:点灯

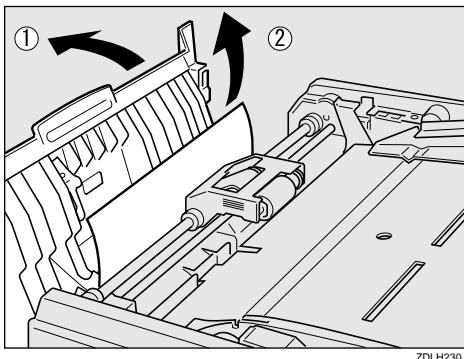
:点滅

- :消灯

## 自動原稿送り装置(ADF)に原稿が詰まったとき

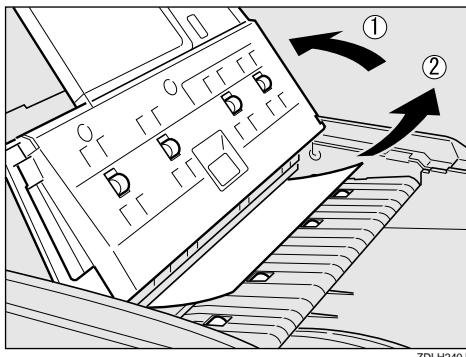
自動原稿送り装置(ADF)に原稿が詰まったときは、以下の手順で原稿を取り除いてください。

- 1 自動原稿送り装置(ADF)のカバーを開き、原稿が詰まっている場合は取り除きます。



ZDLH230J

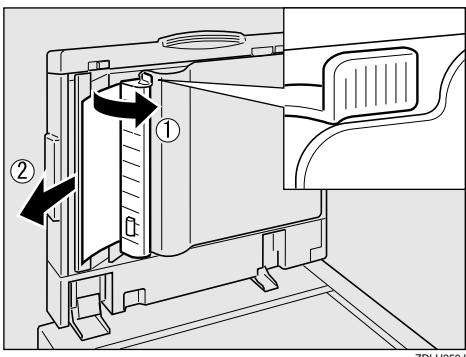
- 2 原稿テーブルを開き、原稿が詰まっている場合は取り除きます。



ZDLH240J

- 3 自動原稿送り装置(ADF)を開きます。

- 4 緑色のつまみを下げる、原稿が詰まっている場合は取り除きます。



ZDLH250J

# 清掃

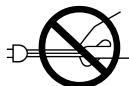
4

## ⚠️ 警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠️ 注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

本機を良好な状態に保つために、定期的に清掃してください。

まず、やわらかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れがとれないときは、やわらかい布を水で濡らし、固く絞ってから拭いてください。水でもとれない汚れは、外装部は中性洗剤を使い、ゴムローラ部はエチルアルコールを使って拭き、水拭きして、その後乾拭きし、水気を十分にとります。

## ❗️ 重要

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因になります。
- 自動原稿送り装置(ADF)内部にホコリや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

## コンタクトガラス、ADFコンタクトガラス、圧板、ホワイトプレートを清掃するには

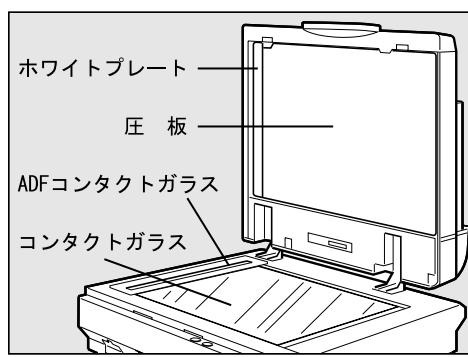
## ⚠️ 注意



- 自動原稿送り装置(ADF)を閉じる場合は、指を挟まないようにご注意ください。

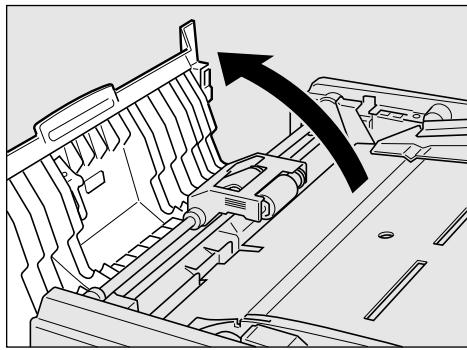
**1** 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

**2** 乾いたやわらかい布で空拭きしてください。



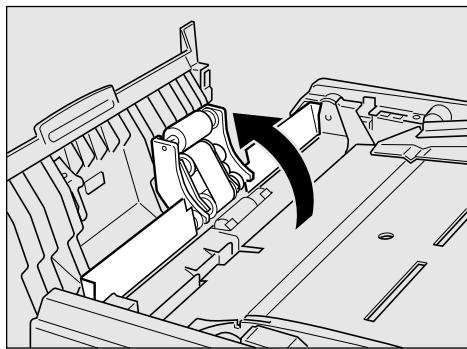
## フィードローラーを清掃するには

- 1** 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2** 自動原稿送り装置 (ADF) のカバーを開きます。



ZDLH070J

- 3** ローラー部を開き、フィードローラーを指で回しながら、水で濡らして固く絞った布で拭きます。



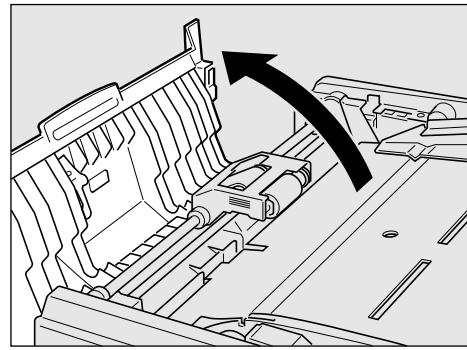
ZDLH080J

### 補足

- 鉛筆などの定着のよくないもので書かれた原稿を読み取った後は、必ずフィードローラーを清掃してください。清掃をしないと、次に読み込んだ原稿を汚すことがあります。

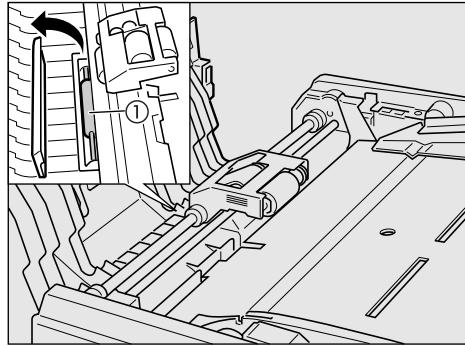
## 原稿ローラーを清掃するには

- 1** 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2** 自動原稿送り装置 (ADF) のカバーを開けます。



ZDLH070J

- 3** 原稿ローラーカバーを外し、原稿ローラー(①)を指で回しながら、水で濡らして固く絞った布で拭きます。

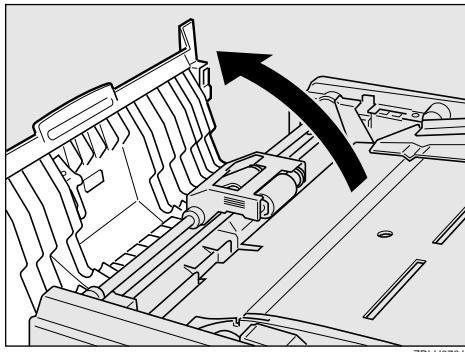


ZDLH190J

## 原稿コロを清掃するには

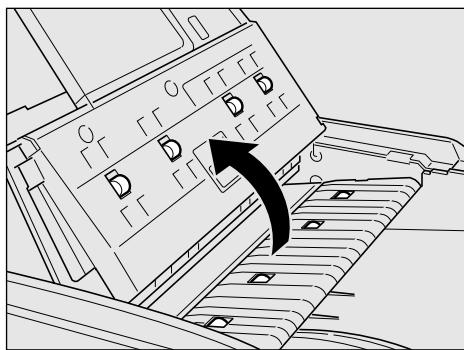
- 1** 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2** 自動原稿送り装置 (ADF) のカバーを開きます。

4



ZDLH070J

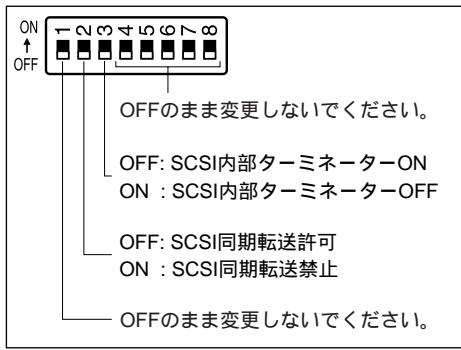
- 3** 原稿テーブルを開き、原稿コロを水で濡らして固く絞った布で拭きます。



ZDLH090J

# DIPスイッチの設定について

本機のDIPスイッチは、2~3のみ設定を変更できます。それ以外は変更しないでください。



ZDLS040J

4

## !!重要

- SCSIケーブルによっては、同期転送のときに誤動作する可能性があります。そのような場合は、2番のスイッチをON(SCSI同期転送禁止)に切り替えてください。
- SCSI内部ターミネータをOFFにするときは、3番のスイッチをON(内部ターミネーターOFF)に切り替えてください。

# 移動・輸送

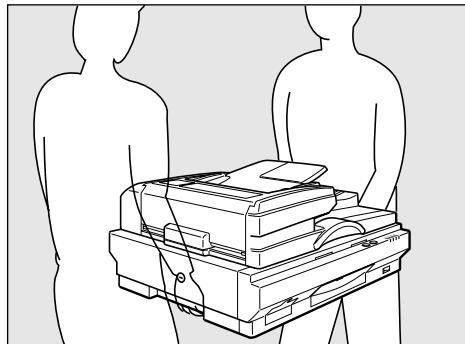
## △注意



- 本機は約28kgあります。
- 本機を持ち上げるときは、2人以上で両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

4

### ③ 本機を移動します。



ZDLH200J



- 移動するときは、なるべく水平を保ってください。

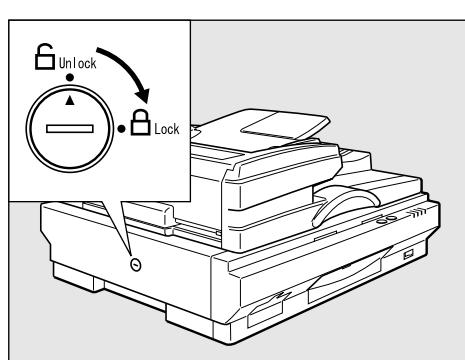
- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国で異なります。これらの規則に違反して本製品及び消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるように措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

## 近くに移動するとき

- ① 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 本機に接続されているケーブルをすべて抜きます。

## 本機を輸送するとき

- ① 電源スイッチをONにし、20秒以上待ってから、OFFにします。
- ② 本体左側面の固定スイッチを「Lock」側にします。



ZDLH210J

### ③ 本機購入時の箱に入れ、輸送します。



- 接続されているケーブル類は、すべて取り外します。
- 精密機械ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。
- 緩衝材は、ご購入時のものを使用してください。

## 廃棄

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

4

## オプション

### ❖ 拡張インターフェースボード

- スキャナー IEEE1394ユニット タイプS  
本機とパソコンをIEEE1394インターフェースで接続できるようにします。

### ❖ 拡張機能ボード

- IS画像プロセッシングユニット タイプ450  
自動2値化処理や自動像域分離など高度な画像処理を可能にします。

### ❖ インターフェースケーブル

- 1.5m SCSI-3ケーブル タイプHP1

# IEEE1394インターフェース使用上のご注意

IEEE1394インターフェースを使用して本機で読み取りを行う場合、以下の点に注意してご使用ください。

- IEEE1394インターフェースを使用した読み取りは、Windows Me、Windows2000のみ対応しています。
- TWAINドライバーを呼び出したときに本機の電源がOFFになっていたり、本機の電源がOFFのままTWAINドライバーを起動させると、パソコンがハングアップします。IEEE1394インターフェースを使用して読み取りを行う場合は、本機の電源をOFFにしないでください。また、読み取りを行う前に、必ず本機の電源がONになっていることを確認してください。
- 複数のパソコンで複数のIEEE1394対応機器を接続すると、動作が不安定になることがあります。複数のIEEE1394対応機器を接続する場合は、動作を確認してご使用ください。
- 本機が読み取りを行っているときやデータを転送中に、リンクしているIEEE1394機器の脱着を行うと、読み取りやデータ転送が中断されてしまいます。IEEE1394機器の接続や電源のON/OFFは本機が待機中に行ってください。
- 本機に同時にログインできるパソコンの数は4台です。

# 仕様

形式	デスクトップ型フラットベッドカラースキャナー	
読み取り方式	原稿固定走査作方式および原稿移動走査方式	
読み取り領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンタクトガラス 主走査:最大300mm 副走査:最大432mm</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ADF 主走査:最大297mm 副走査:最大2000mm (片面白黒読み取り時) 最大630mm (片面カラー読み取り時) 最大432mm (両面読み取り時)</li> </ul>
線密度	主走査:600dpi 副走査:600dpi	
グレースケール	入力:各色12ビット/画素 出力:各色8ビット/画素	
カラー	出力:RGB、sRGB	
読み取り時間	白黒:0.605msec/line カラー :1.815msec/line	
読み取り速度	白黒:30枚/分(A4□/200dpi/白黒) カラー :10枚/分(A4□/200dpi/カラー )	
ウォームアップタイム	最大20秒	
インターフェース	SCSI-3 50ピンハーフピッチ	
電源	AC100V 2A(50/60Hz)	
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>フルオプション 待機時60W 稼働時140W</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オプションなし 低電力モード時12W以下 待機時40W以下 稼働時110W以下</li> </ul>
大きさ	幅590mm/奥行き546 mm/高さ265mm(ADF含む)	
質量	28kg	

## 電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 高調波ガイドライン適合品

家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠

# 索引

## アルファベット索引

---

- DIPスイッチ **10**
- DIPスイッチの設定 **35**
- IEEE1394コネクター(オプション) **11**
- SCSI/IEEE1394切り替えスイッチ **10**
- SCSIコネクター **11**

## あ行

---

- 圧板 **11**
- 移動・輸送 **36**
- インジケーター **10**
- インジケーターの見かた **12**
- オプション **38**
- オプションの取り付け **20**
  - IEEE1394ボード **20**
  - 画像プロセッシングユニット **21**

## か行

---

- 各部の名称 **10**
- 原稿テーブル **10**
- 原稿のセット
  - コンタクトガラス **24**
  - 自動原稿送り装置(ADF) **25**
- 原稿のセットのしかた **23**
- 固定スイッチ **11**
- コンタクトガラス **11**

## さ行

---

- 自動原稿送り装置(ADF) **10**
- 自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットする方法
  - 片面読み取りの場合 **26**
  - 両面読み取りの場合 **27**
- 【スタート】キー **10**
- 設置環境を確認する **13**
- セットできる原稿のサイズ **23**
- 清掃 **32**
  - ADFコンタクトガラス **32**
  - 圧板 **32**
  - 原稿コロ **34**

- 原稿ローラー **33**
- コンタクトガラス **32**
- フィードローラー **33**
- ホワイトプレート **32**

### 接続

- IEEE1394インターフェース(オプション) **18**
- SCSIインターフェース **17**
- 電源ケーブル **15**

## た行

---

- 電源コネクター **11**
- 電源スイッチ **10**

## は行

---

- ハードリセットスイッチ **10**
- 廃棄 **37**
- 排紙テーブル **10**

## ら行

---

- 【リセット】キー **10**
- ロータリースイッチ **10**





機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

## おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品(ハードウェア、ソフトウェア)および使用説明書(本書・付属説明書)を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。



株式会社リコー  
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544  
(03) 3479-3111 (代表)

## お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文やアフターサービス、製品の操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、もしくは最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用しています。